

～北方自然教育園～



◀学習館正面

学習館にある常設展示室には、昆虫や貝、岩石の標本のほか、アンモナイトの化石などが展示されています。その奥の特別展示室には、ドルリーオオアゲハやモルフォチョウなど、世界の珍しいチョウや甲虫の標本が多数並べられています。

「北方自然教育園」には、約5ヘクタールの敷地内に、体験農場や学習館、昆虫館、自然観察林などがあります。イネやヘチマの植物教材の栽培や昆虫などの生物教材の飼育のほかにも、市立幼稚園や学校に、田植えや果樹の袋掛けなどの体験学習の場を提供している教育施設です。一般開放もしており、自由に見学することができます。

昆虫や植物の 不思議を観察



1



2



4



3



昆虫館には、コオロギやカマキリなどの昆虫や、フナ、ヤマメなどの淡水魚のほかに、カエルやサンショウウオなども飼育展示されています。また、夏の間オープンする昆虫観察園では、チョウやトンボを放し飼いにして、自然と同じ環境の中で生態を学ぶことができます。

園

内の散策路を歩くと、さまざまな樹木や花を観察することができます。あちこちにある設問板や樹名板で、自然についての知識が楽しみながら身に付きます。



この日は、自然体験学習会が開かれ、参加した親子たちは園内の畑でジャガイモやトウモロコシの植え付けを行いました。「大きくなってね」と楽しそうに作業を進める子どもたちの姿を、お父さんやお母さんは、ほほ笑みながら見守っていました。

職員のくちかつあきの野口勝明さんは「今後はオムラサキなど、地域に生息するチョウの標本展示も行っていきたいです。子どもたちには、樹木や野菜に実際に触れ、においや感触などを体感し、自然や食べ物を大切にすることをはぐくんではいと思えます」と話します。

北方自然教育園は、自然との触れ合いを楽しみながら学ぶことができます。夏休みの自由研究のヒントに、また家族での散策にぜひ訪れてみてください。

- ①ヘチマやヒョウタンなどの植物教材を栽培する温室
- ②ずらりと並んだ世界のチョウの標本【特別展示室】
- ③昆虫のほかに、魚やカエルなども展示しています。ウーパールーパー（右下）もいるよ！【昆虫館】
- ④いくつ正解できるかな？【設問板】

札幌市北方自然教育園 ☎596-3567

所在地 南区白川1814番地

開園時間 午前9時30分～午後4時30分（学習館は午前9時～午後5時）

休園日 月曜日（祝日の場合は次の平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入園料 無料

ホームページ http://www.sec.sapporo-c.ed.jp/hoppou_top.html

※自然体験学習会の日程などは、本誌全市版で随時募集案内を掲載しますので、ご確認の上、電話で上記へお申し込みください（先着20家族）。

